

# 小学生ボランティア新聞 ふろく 盲学校の友だちといっしょに

先生方へ  
やまびこだより  
No.136  
今号の特集から

\*本紙の特集事例をよりくわしく解説！あわせてご活用ください。

## 松本盲学校と旭町小学校も楽しく交流しています！

長野県松本盲学校と、すぐ近くにある松本市立旭町小学校は、1980年（昭和55年）から交流活動を続けています。



クラス交流（旭町小）



盲学校生紹介（旭町小）



運動会（旭町小）



三九郎（松本盲学校）



交流草取り（松本盲学校）

### 主な交流内容

- 松本盲学校の行事
  - ・交流草取り・三九郎・体育祭 など
- 旭町小学校全校行事
  - ・盲学校生紹介（新学期）
  - ・児童会祭り・音楽会・運動会・クラブ活動 など
- 旭町小学校の交流学級との共同学習
  - ・授業・給食・清掃・ホームルーム
  - ・社会見学・登山、キャンプ など

ほとんど毎日のように子どもたちが交流に伺っているので、旭町小の子どもや先生方から「〇〇くん、今日も元気だね」「すごいね、こんなことができるんだね」等々、たくさん声をかけていただいています。

旭町小は、見えにくい人への自然な心づかいや配慮のできる学校で、まるで、盲学校の校舎内のように居心地のよい場所を作ってくれています。

盲学校の児童にとってもこの交流は、自分の言葉でコミュニケーションをとり、集団の中で学ぶ楽しさやルールを知り、大勢の友だちと力を合わせて活動したり、創りあげていったりする喜びを体感する貴重な機会になっています。

（松本盲学校の先生より）

## 視覚障がいのある人への理解と配慮を

私たちは、見る、聞く、味わうなどの方法で情報を得ていますが、そのうち80%以上は目から得ているといわれています。視覚障がいは、「情報障がい」と「移動障がい」ともいわれます。ちょっとした気づきや手助けで情報を提供しましょう。

### 1. 体験してみよう

アイマスク体験や点字体験のほか、視覚障がいのある人の立場で考えていけるようにしましょう。スルーネットピンポンなどのスポーツもおすすです。

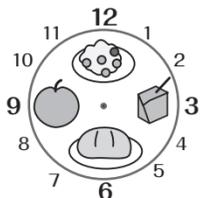
### 2. 何かをしてあげるのではなく、一緒にできることをしよう

見えないからといって何もできないわけではありません。ちょっとした工夫をすれば、視覚障がいのある人も一緒に楽しく過ごすことができます。

### 3. 具体的なことばで伝えよう

自分が見えている様子を言葉にして伝えましょう。位置を教えるときは、「あっち」「こっち」の指示代名詞は使わないこと。

テーブルの上いくつかの物が並んでいるときには、時計の文字盤の位置（クロックポジション）で説明するのもわかりやすいです。料理などは一つ一つ器に触らせてあげながら確認してもらうようにします。



ポストは右側だよ!

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

テ

# 盲学校ってどんな学校？

盲学校(=視覚障がい特別支援学校)は「視覚に障がいがある人たちのための学校」です

## どんな人たちが学んでいるの？

盲学校は、両眼の視力が0.3未満までの人が就学対象で、「全盲」「弱視」の2つに大きく分けられます。県内の盲学校では、「弱視」の児童・生徒が約7割を占め、それぞれのニーズに応じた授業を行っています。

幼稚園、小学部、中学部、高等部の一貫教育で、短大程度相当にあたる高等部の理療科では、あん摩・マッサージ・指圧師、鍼灸師を目指す10代後半から50代までの幅広い方々が勉強しています。

なお盲学校は、在籍するしないにかかわらず指導、支援を行う「視覚障がい教育」のセンターとしての機能も果たしています。

## 校内はどうなっているの？



教室は通常の小中学校と同じように、理科室、技術室、家庭科室、美術室・音楽室、プール、体育館があります。教室は、人数が少ないので、小さめです。



外部の人にあん摩やはりの治療をする臨床実習室(治療室)という小さな病院のような施設もあります。



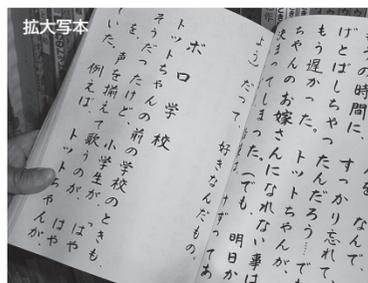
松本盲学校の奇宿舍

家から離れて寄宿舎で生活する人たちもいます。



長野盲学校の廊下

廊下には、分離帯や点字ブロック、手すり(腰板)があり、歩行を補助します。通路には、歩く邪魔にならないよう一切物を置いていません。



図書室にはボランティアの人たちによる手作りの本(録音図書・点字図書など)も数多くあります。

- 図書室にある本
- 通常の活字本
  - 大活字本
  - 点字図書
  - 録音図書 (“デージー”)
  - 立体絵本
  - 拡大写本 など

大活字版の国語辞典

盲学校は、視覚障がいがある人たちが、一人ひとりの見え方に応じた学習環境の工夫、様々な配慮のもとで学習している、視覚障がい教育を行う特別支援学校です。

長野県内には長野盲学校(長野市)と松本盲学校(松本市)の2校があります。

## 何を勉強しているの？

小学部では、国語、算数、生活、社会、理科、保健体育、図工、音楽、英語、総合的な学習の時間など、学習することは通常の小学校と同じです。

通常の教科に加えて、歩行練習や見え方の学習など、見えにくくても上手に生活するための学習をする「自立活動」の時間があります。



白杖を使って外出訓練(自立活動)

## 学ぶ場面でのさまざまな工夫とは？

一般の教科書よりも大きな文字の教科書を使用したり、拡大鏡を使って文字を大きくしたり、点字の教科書を使用したりといった工夫があります。

一人ひとりの見え方の状態に合わせた工夫によって、通常の小中学校と同じ内容の授業を受けることができます。



書見台の上にiPadを置いて漢字の練習

総合的な学習  
マイケル先生と英語を学ぼう



本を読むのは大好きだよ。



拡大読書器は、台の上に本をのせると、大きくなった文字が画面にうつります。白背景に黒文字ではまぶしくてよみにくい人の場合、白黒反転文字として映し出すこともできます。

# つながりマップ 長野盲学校と朝陽小学校との交流



全校の交流集会は、「友だち委員会」の委員が案内や会の進行をします。

朝陽小へようこそ。

先生も体験 新しく赴任した先生は盲学校で職員研修

- 校内視察
- アイマスク・点字体験

授業で点字について学習

- 「手と心で読む」(4年生国語)

点字はどうやって使っているのかな？



松本盲学校



松本の友だちとも交流



点字学習



だいじょうぶ、手伝ってもらわなくても僕ひとりできるよ。

自立活動で郵便局へ



視覚障がいのある友だちも、たくさんの人とふれあうことで様々なことを学んでいます。

お手紙を書こう

驚き

点字が読めるなんて、すごい！

みんないっしょだと楽しいね。

発見

たくさんの友だちができてうれしい！

各学年ごとの学級交流

共感

お互いのできることを、できないことを知る。

どうやったらいっしょに楽しめるかな？

授業で使っている教科書や勉強道具を見せてもらったり……

できないことを一緒にできるように工夫すればいいの？

- 一緒に歌をうたおう

- イントロクイズ

- ハンカチ落とし

- ぼくだんゲーム

共有

僕たちと同じだね。



## ふだんから接することが“違い”を超える

長野市立朝陽小学校 特別支援学級担任 山浦 詩音先生



朝陽小の児童は1年間に何度も盲学校の子どもたちと顔を合わせる機会があるので、盲学校をそれほど特別な学校だとは思っていないようです。みんな交流会が近づくと「もうすぐ交流会だね」と楽しみにしています。

ですから、特別支援学級の子に対して、「どうやったら一緒に活動できるかな」と考えて自然にかかわれる。自分と違うということに偏見を持つ子が見当たらない。これは盲学校とのかわりが大きいのではないのでしょうか。

障がいがあっても、自分と同じように勉強したり、遊んだり、考えたりしているんだということに気づくことができるのは、とても素晴らしいことだなと思っています。

## 朝陽小学校 長野盲学校との交流日程

- 4月・交流教育合同連絡会(朝陽小学校)
- ・第1回学級交流(各学級)
- 5月・新任職員研修会(長野盲学校)
- ・鑑賞音楽教室(3年生以上)(朝陽小学校)
- ・盲学校運動会(長野盲学校)
- 6月・朝陽小運動会(朝陽小学校)
- ・交流集会(朝陽小学校)
- 10月・菊花祭(盲学校)
- ・朝陽小音楽会(朝陽小学校)
- 12月・交流クリスマス会(長野盲学校)
- ※特別支援学級
- 2月・交流教育合同反省会(長野盲学校)

次の交流会が楽しみだね。

各学年毎に“交流学級”を決めて行う学級交流が何度も行われます。

